



令和5年度12月補正予算案の追加提案

2023年12月11日

茨城県

- 国補正予算に対応して、エネルギー・食料品価格などの物価高騰の影響を受ける医療機関、福祉施設、農林水産業者等に対する支援や省力化、生産性向上につながる新たな取組へのチャレンジを促すための事業を計上
- 防災・減災、国土強靱化に資する事業について、スピード感をもって計上

一般会計補正予算額 324億76百万円

(企業会計 11億3百万円)

<一般会計分の内訳>

(1) 物価高騰対策	47億67百万円
① 事業者支援	46億円
② 省力化・生産性向上へのチャレンジ支援	1億67百万円
(2) 安全・安心の確保、防災・減災・国土強靱化	277億9百万円

物価高騰対策

【R5.12月補正予算額 4,767百万円】

- 地方創生臨時交付金を活用し、医療機関、福祉施設、私立学校などの光熱費、食材料費の高騰に対する支援を実施
- あわせて、物価高騰を乗り越えるための省力化・生産性向上へのチャレンジを支援

単位：百万円

区分	事業	予算額	備考
事業者支援 計 4,600	・医療機関、福祉施設などへの支援	3,734	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">内 訳</p> <p>医療機関等 (749)</p> <p>福祉施設等 (1,785)</p> <p>私立学校等 (344)</p> <p>交通事業者等 (46)</p> <p>特別高圧 (810)</p> </div>
	・農林水産業物価高騰対策支援 ・きのこ生産資材導入支援	660	
	・土地改良区省エネルギー化促進事業	107	
	・農業水利施設外来水生植物対策	99	
省力化・ 生産性向上 支援 計 167	・省力化・グリーン化同時実現型資材 活用推進事業	159	
	・いばらき業務改善奨励金事業	8	

【R5.12月補正予算額 159百万円】

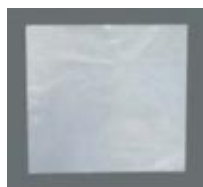
農林水産部農業技術課 持続的農業推進G (029-301-3931)

農業分野で労働力確保が難しくなる中、廃プラスチック処理が不要で、プラスチックの排出を抑制する資材の導入により、持続性の高い作業体系への構造転換を図ります。

- 1 事業内容：生分解性マルチの活用拡大に向け、プラスチックマルチと生分解性マルチの差額を補助
- 2 事業実施主体：認定農業者等
- 3 補助単価：生分解性マルチ 1mあたり15円
- 4 要件：1ほ場当たり1作で、省力効果の検証を実施すること。

生分解性マルチとは

作物生育期には通常のポリマルチ（非分解性）と同様の機能を有するが、収穫後に土壌中にすき込むと、土壌中の微生物により**最終的に水と二酸化炭素に分解**する資材



使用前



使用中



収穫時



すき込み後
(回収不要)

いばらき業務改善奨励金事業（新規）

【R5.12月補正予算額 8百万円】

産業戦略部労働政策課労働経済・福祉G（029-301-3635）

物価高の影響を受ける中小企業等の設備投資等を支援することで、生産性向上を図り、持続的な賃上げを促進します。

<p>補助対象者</p>	<p>事業場内最低賃金を30円以上引き上げ、990円以上とし、生産性向上のための設備投資等を行う中小企業・小規模事業者等 (R6.1月以降に国の業務改善助成金の交付決定を受けていること)</p>																	
<p>助成率・上限</p>	<p>○助成率 業務改善助成金(国)の自己負担分の1/2</p> <p>○助成上限額 最大100万円</p>	<table border="1"> <tr> <td>国助成率</td> <td>3/4の場合</td> <td>4/5の場合</td> <td>9/10の場合</td> </tr> <tr> <td>県助成率</td> <td>1/8</td> <td>1/10</td> <td>1/20</td> </tr> </table>	国助成率	3/4の場合	4/5の場合	9/10の場合	県助成率	1/8	1/10	1/20	<p>【助成イメージ】</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="3">補助対象経費160万円の場合</td> </tr> <tr> <td>業務改善助成金120万円</td> <td>県助成20万円</td> <td>自己負担20万円</td> </tr> </table> <p>自己負担分の1/2を県が助成</p>		補助対象経費160万円の場合			業務改善助成金120万円	県助成20万円	自己負担20万円
国助成率	3/4の場合	4/5の場合	9/10の場合															
県助成率	1/8	1/10	1/20															
補助対象経費160万円の場合																		
業務改善助成金120万円	県助成20万円	自己負担20万円																
<p>助成対象</p>	<p>生産性向上のための設備投資等 例) ・POSレジシステム、自動釣銭機・券売機の導入による業務の効率化 ・リフト付き特殊車両の導入による送迎時間の短縮</p>																	

【R5.12月補正予算額 27,699百万円】

(企業会計含み 28,802百万円)

土木部監理課予算G (029-301-4329)

農林水産部農業政策課総務G (029-301-3817)

1 国補公共事業 27,699百万円
(流域下水道事業会計含み28,259百万円)

(1) 直轄事業負担金： 8,413百万円
道路(東関東自動車道水戸線など)、治水(那珂川など)等

(2) 補助事業： 19,286百万円
(流域下水道事業会計 560百万円)

○防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保等
道路整備、道路・橋梁の老朽化対策、河川改修、防潮堤整備、農業水利施設整備等
・事業箇所：道路整備(国道354号境岩井バイパス外44箇所)、
橋梁修繕等(国道349号外25箇所)、
河川改修等(涸沼川外56箇所)、
防潮堤整備等(鹿島港海岸外3箇所)、
農業水利施設整備等(潮来福島地区外29箇所)等

2 鹿島臨海都市計画下水道事業 (鹿島臨海下水道事業会計 543百万円)

○防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保等
管渠かんきょの老朽化対策等